

- 日 時 2006年4月8日(土) 11:20~13:20
- 会 場 矢野防災 3F会議室(矢野氏提供)
- 参 加 坂倉、間宮、中川、堀内、矢野、奥村、前田、林
大森、高宮、鈴木、西山、飯田 計13名
- テーマ 「地震防災の実際的対応について」
話し手: 奥村俊雄氏(昭和54年 応化卒)

<上記テーマをプロジェクターで説明>

- ・阪神淡路大震災、新潟中越地震の概要
- ・危機管理の時系列的展開
- ①危機を回避する ②危機を察知する ③危機に対処する ④社会活動を回復する
- ・地震三兄弟—東海地震、東南海地震、南海地震
- ・津波の危険、性質
- ・地震で困ったものベスト5
- ・地震で役立ったものベスト5

<説明後意見交換>

資料の最後の言葉が印象に残りました。

- 防災対策に終わりはありません。地震等の災害発生は止められませんが、その災害は軽減することができます。
- 自分自身でできる対策を行うこと、また地域で結びつきを強め地域で共同して災害に立ち向ってください。

上記の詳細資料(パワーポイント作成)は奥村氏のご厚意により校友会WEBから

入手することができます。ご希望の方はダウンロードしてください。

尚、圧縮解凍ソフト(+Lhaca)が必要です

家庭や職場の危機管理の参考にしてください

- 次回予定 7月30日(日) 10:00~14:00 松阪(予定) 担当 高宮検討
詳細決定次第WEBにのせます。又メール、FAXにて7月初旬に連絡します。

以 上